



釧路市合併一周年記念

「釧路市の花・木」制定

【釧路市の花】

◆キンレンカ

ノウゼンハレン科 キンレンカ属

花はカブト、葉は盾を連想させることにより学名は、勝利のトロフィーに由来する。夜温が18℃以下で良く開花しそれ以上になると開花しなくなる。
わい性の蔓が伸びにくい品種とよく伸びる品種がある。



◆スズラン

ユリ科 スズラン属

君影草（キミカゲソウ）とも呼ばれ、全草に有毒な配糖体を含む。日本では山や高地の草原に自生し、北海道では平地にも生育する。多年草で、地下茎は横に這い、地上に茎を伸ばす。葉鞘の筒が直立し、その先端から楕円形の葉が二枚くらい展開する。葉は緑色で柔らかく、わずかに粉を吹く。



◆エゾリンドウ

リンドウ科 リンドウ属

低地～山地の湿地などに生え、茎の高さは30～80センチ。茎頂と上部の葉腋に長さ3～5センチの青紫色の花を数個ずつつける。葉は披針形～広披針形で対生し、裏は粉白色を帯びる。



【釧路市の木】

◆ハシドイ

モクセイ科 ハシドイ属

山地に生育する落葉小高木。高さは8～10mになる。前年枝の先に長さ15～25cmの円錐花序を出し、香りの良い白い4弁の花をびっしりつける。
日本に自生するライラックの仲間はいずれもこれだけ。



◆エゾヤマザクラ

バラ科 サクラ属

本名オオヤマザクラ、本州中北部より北では山野でごく普通に見られるサクラ。花は淡紅色～紅色で、葉が出るのとほぼ同時に花は咲く。果実は紫黒色に熟す。葉は楕円形で先は尾状に細長くとがり、ふちにはぎざぎざがある。



◆ナナカマド

バラ科 ナナカマド属

山地帯～亜高山帯の林内に生える高さ7～10mの落葉高木。灰色を帯びた暗褐色の樹皮をもつが、枝は濃紫紅色で全体に毛がない。7回も竈に入れても焼け残るという程、材が燃えにくいので付いた名前のような。



平成18年10月11日制定



「釧路市の花・木」制定の経緯

旧3市町ではそれぞれ、まちの花・木を制定しており、長年にわたって地域住民や関係団体の皆さんが普及に取り組み続けてきた。新釧路市としては、そういった方々の思いや合併により市の面積が大きくなったことによる気候風土の違い等も考慮して、旧3市町がそれぞれ制定していた、花・木を継承することとした。

◆旧3市町の花・木制定の経緯

	項目	制定の経過	制定の方法
旧 釧 路 市	花	昭和47年（1972年）9月5日「市民の花選定委員会」で「キンレンカ」を市民の花として決定。市制施行50周年記念事業の一環として「花と緑できれいなマチを」を統一テーマに、緑いっぱい市民運動世話人会・緑の銀行・市民憲章推進協議会・釧路市が共同して「市民の花」選定委員会を組織・公募した。	公募で上位3つの、キンレンカ・パンジー・キンセンカの中から、「①市民の投票で1位となった。」「②誰にでも手軽に栽培できる。」「③低温・日照不足・潮風など、釧路地方特有の環境に対応できる。」「④うるおいの乏しい釧路の風土にマッチしたまちづくりに役立つ。」という理由で、委員全員の賛成で「キンレンカ」に決まった。
	木	昭和44年（1969年）5月6日「釧路の木選定会議」にて、「ハシドイ」を釧路の木として決定。釧路市開基100年記念事業の緑化事業の一環として、「釧路の木選定会議」を組織、樹種を提示した上で、市民投票を行った。	選定会議を開催し、釧路に適すると思われる13種の木から7種類に絞り込み、市民投票を行った。投票結果の上位3位程度を、さらに選定会議で、検討し選定した。
旧 阿 寒 町	花	昭和60年（1985年）12月16日「阿寒町開基100年記念事業実行委員会」で「スズラン」を選定。阿寒町開基100年記念事業（昭和61年）の一環として、将来における環境緑化、美化運動等を目指し、花種を提示した上で町民公募を行った。	記念事業実行委員会で阿寒町に相応しいと思われる6種類の候補を示し、公募の上位2種から同委員会総務部会が選定した。
	木	昭和60年（1985年）12月16日「阿寒町開基100年記念事業実行委員会」で「エゾヤマザクラ」を選定。阿寒町開基100年記念事業（昭和61年）の一環として、将来における環境緑化、美化運動等を目指し、樹種を提示した上で町民公募を行った。	
旧 音 別 町	花	昭和60年（1985年）6月2日「音別町開基70周年記念事業推進委員会」で「エゾリンドウ」を選定。開基70周年記念事業の一環として“こだまが語る70年未来へ（あす）へはばたけ我が郷土”をテーマに広く町民から公募した。	公募の中から記念事業推進委員会が選定した。選定の理由は、町内の原野に多く群生し、ドライフラワー等として、広く利用でき栽培が簡単で多年草であること。
	木	昭和60年（1985年）6月2日「音別町開基70周年記念事業推進委員会」で「ナナカマド」を選定。開基70周年記念事業の一環として“こだまが語る70年未来へ（あす）へはばたけ我が郷土”をテーマに広く町民から公募した。	公募の中から記念事業推進委員会が選定した。選定の理由は、町内の山地に植生し、栽培もし易く、家庭の庭木や街路樹等にも適する樹種であり、夏の青葉、秋の紅葉、そして冬も赤美が残り、北国のムードを持つ木であること。